

東川町社会福祉協議会 マスコットキャラクター 応募作品紹介

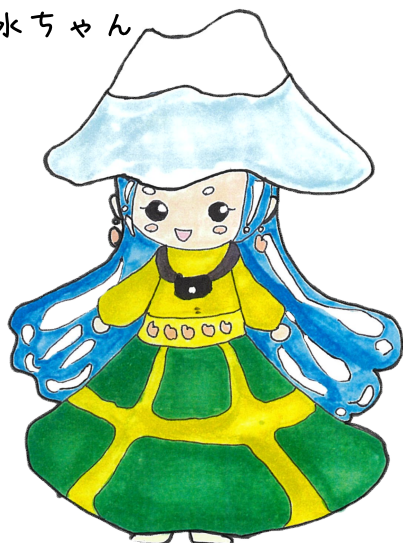
マスコットキャラクターは東川町社会福祉協議会と町民のみな様と共に「お互いが支え合うやさしい地域づくり」の実現に向けての様々な事業や取り組みを、より深く知っていただき、身近に感じていただくために、公募いたしました。このページでは、応募作品を紹介していきたいと思います。また、ホームページ上で実名を載せてもいいという方のみ、作者名を記載しております。御了承ください。

素晴らしいイラストばかり



優秀賞受賞

旭東水ちゃん



東川町在住の学生さんの作品

旭岳のぼうしをかぶっている5歳の女の子。髪は旭岳原水のようにつやつや。アクセは大好きな東川米。旭東水ちゃんのワンピースは田植えが終わったくらいかな～。趣味は写真で東川の絶景を見逃さないようカメラをもってシャッターチャンスを狙っている。スカートの色は季節によって変わります。秋は稲の色、冬は白（雪が積もります）春は桜色。

うぱしリス（通称うぱ）



東川町出身の方の作品

「うぱし」はアイヌ語で雪。うぱしリスはエゾリス。お米が大好き。米所の東川から稲を少しもらって尻尾に飾っている。木の木陰から町民を見守っている。趣味は写真。

リースくん



東川町在住の学生さんの作品

リースはロシア語で米、稲という意味。同じ雪国なのでロシア語にしました。リースくんは旅人（登山客や観光客が多いイメージから）であり、写真家（写真の町のイメージから）である。おいしいお米と水と笑顔を探して旅に出た。父から帽子とひょうたん、母から手づくりのマントをもたされた。